

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中小企業資金融資利子補給事業				会計	款	項	目	大	小
政 策	05	5 節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課					
施 策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化			主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内に店舗、工場、事業所、営業所を有する法人及び個人	意図	市内中小企業者の育成と振興に寄与するため、借入れた利息の一部助成を行う。
事業内容	融資を受けた日から返済の期間の満了する日までの期間に応じ、補給率を乗じて得た額を対象者に補給する。			
事業開始から現在までの状況変化	利子補給は、昭和43年4月1日からの融資に適用され補給されている。中小企業における経営環境の悪化や、経済は回復基調にあるものの一部に厳しい状況が見られることから、今後とも運転資金や設備の近代化に対する資金融資制度の存在は欠かせない。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	利子補給件数	215	214	220	件	▲▲
②	利子補給額	13218	12779	11182	千円	▲▲	実績から
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	緊急経済対策の影響等により景気は改善傾向にあると言われているが、中小企業の環境は未だ厳しく、資金繰りに苦慮しており、制度融資の利用者は減少傾向にある。制度融資利用者に比例し、利子補給の件数も減少することが見込まれるが、景況に不透明感があることから、しっかりと経緯状況の把握に努めたい。		

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	17,555,644	16,622,403	15,139,790
事業費(b)(円)	15,974,344	15,180,753	14,468,590
うち一般財源	15,974,344	15,180,753	14,468,590
職員給与費(c)(円)	1,581,300	1,441,650	671,200
人役・職員(人)	0.21	0.21	0.10
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	事務フローを見直すことで、利用者の利便性の向上と行政の事務処理の効率化を図る。	③取組の課題	利子補給は、市融資制度の最大の魅力であることから、市内企業等に対し、融資制度に関する情報提供を行い、市内商工業の活性化に繋げること。
②今年度(H29)に実施した取組	規則改正を行い事務フローを変更した。	④今後(H30以降)の改善計画	景況を鑑み、利子補給の拡大等により中小企業の経営安定につなげる。